

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-511138 (P2005-511138A)

【公表日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-548725 (P2003-548725)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 F 13/20

【F I】

A 6 1 F 13/20 3 3 4

A 6 1 F 13/20 3 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 8 日 (2004.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セルロース繊維を含む予め膨張されたタンポンプレジットであって、前記タンポンプレジットは、立方センチメートル当たり約 0.01 グラム (g / c c) から約 0.39 g / c c までの密度および約 6 グラムから約 18 グラムまでの吸収性を有し、前記吸収性が、輸送層の使用無しに前記セルロース繊維により達成されるタンポンプレジット。

【請求項 2】

前記セルロース繊維が、レーヨン、綿、パルプおよびそれらのいずれかの組み合わせからなる群より選択される請求項 1 記載の予め膨張されたプレジット。

【請求項 3】

前記タンポンプレジットが約 8 c c から約 52 c c までの体積を有する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 4】

前記セルロース繊維が、約 1.3 グラムから約 4.5 グラムの量で前記タンポンプレジット中に存在する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 5】

前記タンポンプレジットが、初期状態で約 0.5 インチから約 1.75 インチまでの直径を有する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 6】

前記タンポンプレジットがクロス - パッド構造を有する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 7】

前記タンポンプレジットがラジアル構造を有する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 8】

前記タンポンプレジットが、フラットパッド構造を有する請求項 1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 9】

前記タンポンプレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項

1 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 10】

約 0.01 g/cc から約 0.31 g/cc までの密度および約 6 グラムから約 9 グラムまでの吸収性を有し、前記吸収性が輸送層の使用無しに達成される予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 11】

前記密度が約 0.15 g/cc から約 0.29 g/cc である請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 12】

前記タンポンブレジットがセルロース繊維を含む請求項 10 記載の予め膨張されたブレジット。

【請求項 13】

前記セルロース繊維がレーヨン、綿、パルプおよびそれらのいずれかの組み合わせからなる群より選択される請求項 12 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 14】

前記タンポンブレジットが約 7 cc から約 12 cc の体積を有する請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 15】

前記セルロース繊維が約 1.6 グラムから約 2.4 グラムまでの量で前記タンポンブレジット中に存在する請求項 12 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 16】

前記タンポンブレジットが、初期状態で約 0.5 インチから約 0.8 インチまでの直径を有する請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 17】

前記タンポンブレジットがクロス - パッド構造を有する請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 18】

前記タンポンブレジットがラジアル構造を有する請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 19】

前記タンポンブレジットがフラットパッド構造を有する請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 20】

前記タンポンブレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項 10 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 21】

セルロース繊維を含む予め膨張されたタンポンブレジットであって、前記タンポンブレジットは、約 0.01 g/cc から約 0.32 g/cc までの密度および約 9 グラムから約 12 グラムまでの吸収性を有し、前記吸収性が、輸送層の使用無しに達成される予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 22】

前記密度が約 0.15 g/cc から約 0.30 g/cc までである請求項 21 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 23】

前記セルロース繊維がレーヨン、綿、パルプおよびそれらのいずれかの組み合わせからなる群より選択される請求項 21 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 24】

前記タンポンブレジットが約 9 cc から約 14 cc までの体積を有する請求項 21 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 25】

前記セルロース繊維が約 2.25 グラムから約 2.75 グラムまでの量でタンポンプレジット中に存在する請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 2.6】

前記タンポンプレジットが初期状態で、約 0.65 インチから約 0.8 インチまでの直径を有する請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 2.7】

前記タンポンプレジットがクロス - パッド構造を有する請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 2.8】

前記タンポンプレジットがラジアル構造を有する請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 2.9】

前記タンポンプレジットがフラットパッド構造を有する請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.0】

前記タンポンプレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項 2.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.1】

約 0.02 g / cc から約 0.035 g / cc までの密度および約 9 グラムから約 12 グラムまでの吸収性を有する予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.2】

前記タンポンプレジットがセルロース繊維を含む請求項 3.1 記載の予め膨張されたプレジット。

【請求項 3.3】

前記セルロース繊維がレーヨン、コットン、パルプ、およびそれらのいずれかの組み合わせからなる群より選択される請求項 3.2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.4】

前記吸収性が輸送層の使用無しに達成される請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.5】

前記タンポンプレジットが約 40 cc から約 60 cc までの体積を有する請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.6】

前記セルロース繊維が、約 1.1 グラムから約 1.7 グラムまでの量でタンポンプレジット中に存在する請求項 3.2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.7】

前記タンポンプレジットが初期状態で約 1.25 インチから約 1.75 インチまでの直径を有する請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.8】

前記タンポンプレジットが、クロス - パッド構造を有する請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 3.9】

前記タンポンプレジットがラジアル構造を有する請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 4.0】

前記タンポンプレジットがフラットパッド構造を有する請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

【請求項 4.1】

前記タンポンプレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項 3.1 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 2】

約 0.01 g / cc から約 0.35 g / cc までの密度および約 12 グラムから約 15 グラムの吸収性を有する予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 3】

前記密度が約 0.20 g / cc から約 0.33 g / cc までである請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 4】

前記タンポンプレジットがセルロース繊維を含む請求項 4 2 記載の予め膨張されたプレジット。

## 【請求項 4 5】

前記セルロース繊維が、レーヨン、綿、パルプおよびそれらの組み合わせからなる群より選択される請求項 4 4 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 6】

前記吸収性が、輸送層の使用無しに達成される請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 7】

前記タンポンプレジットが約 10 cc から約 15 cc までの体積を有する請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 8】

前記セルロース繊維が、約 3 グラムから約 3.5 グラムまでの量でタンポンプレジット中に存在する請求項 4 4 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 4 9】

前記タンポンプレジットが、初期状態で、約 0.65 インチから約 0.8 インチまでの直径を有する請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 0】

前記タンポンプレジットがクロス - パッド構造を有する請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 1】

前記タンポンプレジットがラジアル構造を有する請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 2】

前記タンポンプレジットがフラットパッド構造を有する請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 3】

前記タンポンプレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項 4 2 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 4】

約 0.01 g / cc から約 0.39 g / cc までの密度および約 15 グラムから約 18 グラムの吸収性を有する予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 5】

前記密度が約 0.25 g / cc から約 0.35 g / cc までである請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 6】

前記タンポンプレジットがセルロース繊維を含む請求項 5 4 記載の予め膨張されたプレジット。

## 【請求項 5 7】

前記セルロース繊維が、レーヨン、綿、パルプ、およびそれらの組み合わせからなる群より選択される請求項 5 6 記載の予め膨張されたタンポンプレジット。

## 【請求項 5 8】

前記吸収性が、輸送層の使用無しに達成される請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポン

ブレジット。

【請求項 5 9】

前記タンポンブレジットが約 1 0 c c から約 1 5 c c までの体積を有する請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 0】

前記セルロース繊維が、約 3 . 5 グラムから約 4 . 5 グラムまでの量で前記タンポンブレジット中に存在する請求項 5 6 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 1】

前記タンポンブレジットが、初期状態で約 0 . 6 5 インチから約 0 . 8 インチまでの直径を有する請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 2】

前記タンポンブレジットが、クロス - パッド構造を有する請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 3】

前記タンポンブレジットがラジアル構造を有する請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 4】

前記タンポンブレジットがフラットパッド構造を有する請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。

【請求項 6 5】

前記タンポンブレジットの少なくとも一部の周りにカバーストックをさらに備える請求項 5 4 記載の予め膨張されたタンポンブレジット。